

今年の「ハロウィン in KOZU」はファッションショーを開催！！

10月25日(日)、2階MORI×MORIホールで「ハロウィン in KOZU ファッションショー」が行われました。例年のハロウィン in KOZUはお菓子作りと各所でお菓子がもらえるまち歩きを行っていましたが、新型コロナウイルス感染対策などを考慮した結果ファッションショー形式で開催することになりました。今回、3歳から10歳までの11名が参加し、MORI×MORIホールにできた特設ランウェイをトップモデルさんながらに歩きました。

参加者は、仮装の定番「魔女」や「ドラキュラ」のほかディズニーのプリンセスや大ヒット中のアニメ「鬼滅の刃」のキャラクターに扮して、ランウェイを歩き、ランウェイの先端で「トリックオアトリート」の掛け声とともにポーズを決めました。

この日、ファッションショーのステージでは、華やかな照明や高音質な音楽だけでなく、カボチャのおぼけや飴などのお菓子たちステージサイドに設置されました。実はこのデコレーションは風船でできているのです。

サークル「スマイルバルーン」の協力により、ステージに彩りが加えられ、参加者がランウェイを歩いている間も観覧者を楽しませていました。このバルーンはイベント終了後、2階の吹き抜け部分に移動され、イベントに参加していない人もハロウィン気分を満喫していました。



ギャラリーが異国芸術の風に包まれた

9月14日(月)から10月11日(日)まで2階ギャラリーMORI×MORIにて「イタリア版画の世界」が開催されました。北イタリアを代表する現代芸術家バラッコ兄弟の版画作品を展示し、版画から歴史と芸術の国イタリアを学びます。版画というイメージするのが、小学生の頃図工の時間に行



ったモノクロの大雑把なもの。しかし展示されていた版画は、カラーで、美しいイタリアの街並みや繊細な人の表情や髪の毛などが表現されていました。また10月4日には、今回協力していただいた酒井さんを講師としたギャラリートークが行われ、バラッコ兄弟の製作背景や北イタリアの歴史と美術を紹介し、訪れたおよそ40名の観客は熱心に耳を傾けていました。

世界にひとつだけのハートリース

11月1日(日)、3階工芸スタジオで「花あそびワークショップ ハートのリースづくり」が行われ、14名の参加者が思い思いの彩りでドライフラワーを配置してリースを完成させました。今回、森川光江さんが講師を引き受けてくださり、自然な色を生かしたドライフラワーは森川さんが自家栽培で育てた貝



殻草や千日紅をドライフラワーにしたもの。参加者は綺麗な色合いのドライフラワーに感激していました。リースづくりはとても簡単で、ハート型の発泡スチロールを土台にして、針金のついた花を選んで土台に刺していくというもの。参加者は彩りのバランスを考えながら、ドライフラワーを配置し、世界にたったひとつだけのリースを作り上げました。

乱れた心をリフレッシュする精神統一

10月7日(水)、会議室が厳かな雰囲気になりました。この日行われたのは、成田山新勝寺から僧侶をお呼びして、お経を書き写す『写経』を行う「写経で精神統一！」は始める前に僧侶により、お不動様の安置が行われ、霊験あらたかな場になりました。その後、写経の作法やお経についての解説があり、丁寧に教えていただきました。塗香で手を清め、輪袈裟をかけ、いよいよ修行開始。

合掌の方法やお経の唱え方を学び、お経を書き写していきます。初めての方が多かったですが、仏様とご縁をつなぐ気持ちで心を込めて書くことによりコロナ禍での不安やストレスがいったいの心を落ち着かせていました。



大人お散歩倶楽部再開後最大人数！

お散歩のついでちょっと寄り道をして、軽く体操したり、ミニコンサートを鑑賞してもらおう「もりんぴあお散歩倶楽部」ですが、新型コロナウイルスの影響で開催を中止していました。そして7月から再開。消毒液の設置や体調の状況を確認はもちろん、会場を広い空間の1階サロンに変更したり、間隔をあけた座席配置にしたり、開催時間を1時間に短くしたりと様々な対策を講じて開催にこぎつけました。再開直後は、再開前の半分ほどの参加者でしたが、10月のお散歩倶楽部では、46名の方が参加し中止前と変わらない人数の方に参加して頂き、ストレッチと軽い体操をしたり、ベトナムの民族楽器ダンバウの演奏を聞いて楽しみました。



図書館だより

杜のおはなしかい再開

長らくお休みしていた「杜のおはなしかい」を、令和2年10月27日(火)から再開しました！久しぶりにおはなしを聞きに来てもらえて、とても嬉しいです。「密」を避けるために、会場はもりんぴあこうづ内の広いお部屋を使っています。おともだち同士や、おはなしをする人と少し離れてしましますが、ふだん見られない大型絵本なども登場しますので、ぜひ遊びにきてください。会場へは図書館の人といっしょに移動しますので、参加する人は開催日の午後3時におはなしの前に集まってください。詳しい日程は、図書館ホームページおよび図書館内に掲示しているポスター・チラシ等でご確認ください。



リサイクル本コーナーが大きくなりました

「もりんぴあフェスティバル」で開催していた、図書館の除籍本を配布する「リサイクルフェア」ですが、今年中止となりました。そこで、カウンター前に設置しているリサイクル本コーナーの棚を増設しました。図書館では役目を終えた本ですが、思わぬ掘り出し物と出会う機会があるかもしれません。気になる本があったら、ぜひお持ち帰りください。



「水と光」アートフォトを募集！

9月1日から10月15日にかけて募集を行っていた「アートフォト NARITA」。3回目を数える今回のテーマは「水と光」。今回も北は北海道から南は沖縄まで全国各地の68名から149点の力作が送られてきました。その中で最優秀の成田市長賞に輝いたのは、高嶋玲捺さんの「曖昧模糊」。審査委員による投票の後、名前を見ると見覚えのある名前。なんと高嶋さんは第1回アートフォト NARITA の成田市長賞受賞者でした。第1回に続き応募してくださりました。

また、11月22日には表彰式が行われ、出席した入賞者には小泉市長より表彰状と副賞が手渡されました。

表彰式後には、吉留千尋さんにより二胡演奏のミニコンサートが行われ、「見上げてごらん夜の星を」や「花は咲く」や「星に願いを」など聴き馴染みのある曲の他、二胡らしい中国の曲など計16曲を演奏しました。演奏の際には、背面の壁には入賞作品の映像が映し出されました。



なかよしひろばだより

「スマイル！アートフェスタ」開催

子どもたちの笑顔の写真を展示し、親子で楽しむ、また子どもの遊びの重要性を共有する機会として11月17日(土)から28日(水)まで2階ギャラリーMORI×MORIで開催しました。ひろばの利用者に写真を募ると23点もの応募があり、子どもたちがイキイキと遊ぶ様子をパパママならではの視線で写した傑作が並びました。また、ひろばの窓ガラスペイントを手掛けたマリリンさんのイラストやママの絵画作品、子どもがひろばで描いたお絵かきや製作の作品展示、ひろばの様子を写真で紹介したコーナーなども設けました。大人が遊びについて思いを寄せるきっかけとなるよう作った「子どもの頃にしたい遊び」を掲示するコーナーには、多くの来場者が子ども時代の思い出を書いてくれました。

利用者の皆さんや地域の方も立ち寄って、元気をもらえたと好評で、アンケートには「家族の愛が深いんだと思った。自分を大切にされていたんだと思った。」「手探りの子育てで、小さい子の作品やほほえましい写真を見て、身近に住んでいるおうちも頑張っているんだなと思った。」などの感想が寄せられました。



おまけの1枚

こちらは10月の休館日の一コマ。休館日は開館中には出来ない各種設備の保守点検や清掃、職員の研修など様々な事を行っています。この日行われたのは、消防設備に関する研修。



火災報知器や消火栓、消火器の確認や救助袋の使用の確認などを行いました。万が一に備え毎年研修を行っていますが、開館から全く使用せずに済んでいるのは嬉しいことです。これから先も使わないで済むことを願っています。

編集後記

調子が悪かったり、壊れたりすると一先ず自分で修理を試みる私K。自宅PCの調子が悪くなり、修理を試みました。フタをあけて埃を除去。コネクターを抜き差しして、電源ON！変わらず…基盤のボタン電池を交換したところ、更に悪化…中のデータだけ救出するためにHDDを抜き取り他のPCでバックアップ。修理を断念しました。10年使ったので寿命だと言いつけています。実は施設の備品も色々直しています(K)

公津の杜コミュニティセンター

(指定管理者 アクティオ株式会社)

発行人: 田村 修 編集: 鹿嶋 聡明

〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地

TEL: 0476-27-5252 FAX: 0476-27-5353

E-mail: info-kozu@morinpiakozu.jp HP: <http://morinpiakozu.jp/>

もりんぴあ
こうづ
Morinpia Kozu